



	11 月				12 月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	24.9	20.2	22.6	188.5	19.0	15.0	17.1	165.5
平年	24.2	18.3	21.2	100.0	20.4	14.7	17.6	79.5
平年差	+0.7	+1.9	+1.4	+88.5	-1.4	+0.3	-0.5	+86.0

年頭の御挨拶

新年あけましておめでとうございます。

2022/2023年度の操業を12月12日より開始しております。

生産農家様、ハーベスタ組合様、関係各所の皆様のご協力により、年内の操業を無事終えることが出来た事に感謝申し上げます。また、新年早々からの刈取り、集荷作業となりますが、体調に気を配り、無事故で製糖終了を迎えられるようお願いいたします。

今期操業計画は収穫面積1,317ha、生産量73,000tでスタートいたしました。年内処理量は雨天の影響により、計画より1,528t少ない11,472tとなっております。操業前に新鮮原料の搬入をお願いしたことで、品質劣化が大きく改善され、生産農家に於いては買入糖度が上がる事での価格アップ、工場に於いては転化糖（蔗糖が変化してザラメにならない糖分）の減少による歩留り（キビに対するザラメの出来高）アップとなっております。

今後とも新鮮原料の搬入をお願いいたします。

昨年からコロナ問題、ウクライナ・ロシアの戦争等により薬剤・肥料・燃料の高騰が続き生産農家は大きな痛手を負っていますが、国際砂糖相場の上昇により基準糖度帯で過去最高の23,506円となっております。少しでも生産農家の助けになると思っております。

しかし糖価調整制度は厳しい現状であり、制度維持に向け北海道のてん菜糖の生産調整が決定しています。国が制度維持に取り組んでいる中、まずは生産量の回復が必要であり、株出、春植えの単収向上に向け取り組んでおります。今期は、中間洗缶時と3月初旬の2回に分け推進デーを計画しております。昨年同様に生和糖業からの支援作業を実施致しますので、多くの方に申し込んでいただき、単収アップを目指していきたいと思っております。

最後になりますが、何よりも安全を第一に考え、刈取り作業、運搬作業をお願いいたします。また厳しい現状だからこそ、全ての関係者が現状を知り、知恵を出し合い豊かな喜界島を作っていきましょう。

本年もよろしくお願いいたします！

生和糖業(株) 工場長
山倉 正和

第64期製糖期始まりました

12月10日（土）に第64期 製糖開始いたしました！

12月12日（月） 生和糖業(株)構内にて、関係機関の方々が参列するなか、サトウキビ搬入の出発式を催すことができました。

今期の操業計画

キビ処理見込	73,000 t
搬入圧搾開始	12 月 12 日
搬入終了予定	3 月 26 日
操業終了予定	3 月 28 日
洗缶日予定	2 月 11 日
	12 日
春植推進デー	2 月 13 日
	2 月 14 日
春植推進デー	3 月 4 日
	3 月 5 日
	3 月 7 日

3月の春植推進デーは天候等で変更になる場合もあります。



さとうきび日記



生和糖業(株)原料係
岩井 辰矢さん
(赤連集落)

まとめ

今回、さとうきびを植付けしてみて...

雑草防除が遅れると後々大変な事になると気付きました(⊗)
梅雨時期の晴れ間に除草剤が撒けなかったので梅雨明けに雑草が
大きくなって大変でした。

雑草は、草丈によって薬の効き目が変わることを知った時には、
僕の圃場の雑草は限界を突破していました(⊗)

背丈が高すぎると除草剤を撒いても効かない事が分かりました。

除草剤のラベルに書かれた背丈になる前に撒く事をおススメします！

僕も、株出へつなげるために除草剤散布のタイミングを見極めたいです(∧_-)☆

沖縄・奄美ではスクープでの株出管理が広まってきたと聞き、喜界島でスクー
プを使用している圃場を見させてもらい、僕も株揃えとスクープを実施したいと思
いました！

土壌処理も忘れずに！！

土壌処理を行えば、2か月程度は雑草を防除できるため、早期株出管理をしていきます
喜界島では、意外と土壌処理をしている方が少ないと聞いたので、皆さんにもおス
メします(⊗)



株出管理にスクープを活用しよう！！

収穫後、ハーベスタが踏んだ畝の表面を切裂いて中耕し、ハカマ
を埋め込み土壌環境を改善します。

また、スクープで畝間を掘り起こすことで、次に行う中耕作業に
おいて負担軽減にもなり
ます。けん引式作業機なので、
ロータリーを使った作業の
約4倍のスピードで作業が
出来、燃料費の軽減にも
つながります。



スクープ有 | | |
刈取り スクープ 中耕

スクープ無 | | |
刈取り 中耕

刈取り後の株出管理でスクープ処理した場合、中耕が早い段階で可能な
上に、労力・時間も短縮できます。管理が早く出来るということは、そ
の後の成長にも期待できる！！

スクープ貸出します

(スクープのみ)

受付順ですので、お早め
に
お問い合わせ下さい。

生和糖業 原料課

☎65-3133

製糖用サトウキビは、栽培起源種と近縁種属植物の交配により作られている。近縁種属植物のうち、
サトウキビ野生種は特に重要であり、株出し能力、耐病性、不良環境適応性などを強化する育種素材と
して利用されている。我が国では、1980年代から専門家らにより検索・収集が開始され、近畿地方を除
き、南西諸島から関東までの太平洋沿岸の各地に、国内野生種が自生する事を確認している。その野生
種が喜界島においても自生していたのだが、近年は工事により次々と姿を消している。サトウキビの島
から野生種が消えることは非常に残念である。

みんなで、自生するサトウキビ野生種を探し出して保護しよう！！

サトウキビ野生種の見た目はススキと見分けが付きにくく、ほとんどの方はススキだと思われる。
見分け方を知りたい方は、生和糖業原料課までお問い合わせ下さい。